

学校だより

よう

よう

遙 遙



目指す生徒の姿『未来を切り拓く生徒』 教育目標『自律 貢献 創造』

新潟市立新潟柳都中学校
令和5年10月17日発行

TEL 025-228-6547
FAX 025-228-0985
E-mail

j305niigataryuto@city-niigata.ed.jp

～令和5年度 後期スタート～



10月10日(火)に後期の始業式が行われました。

始業式では校長の講話と各学年の代表生徒による決意が述べられました。

校長からは、後期に向けて「失敗を恐れず、挑戦してほしい、学校生活や授業を楽しんでほしい」という願いが話されました。また、ある会社の入社試験の問題を例にして、「学ぶことの意義」について生徒に分かりやすく伝えられました。

代表生徒の3名は前期の活動から学んだことと後期に向けての決意を発表しました。学年の代表として堂々とした態度で素晴らしい発表を行いました。詳細は下記をご覧ください。

さて、後期はいよいよ創立10周年記念式典・合唱祭が行われます。10月29日に向けて各学年とも放課後の合唱練習も始まりました。節目となる10周年を生徒の皆さんの合唱で大いに盛り上げてくれることを期待しています。保護者の皆様も当日は是非、学校にお越しいただき、生徒の心を込めた合唱をご鑑賞いただけたらと思います。



『前期の振り返りと後期への抱負』



1年2組 女子生徒

私は前期、いろいろな事にチャレンジしました。

ボランティア活動では、海岸清掃や、千灯まつりの灯籠作りに参加しました。

少しでも地域に貢献する事で、みんなが嬉しい気持ちになるので、とてもやりがいがあり、参加してよかったなと思いました。

前期最初には、学年委員長にも立候補しました。学年をまとめることはとても難しかったけれど、最後まで責任をもって学年を引っ張る事ができました。

体育祭の時期は神楽隊として活動していました。夏休みに一生懸命練習に参加しました。神楽隊として、振りを教えたりするのが、とても難しかったです。でも体育祭本番では、全校一丸となって踊っている感じがして、自然と踊っていて楽しくなるような、とてもいい神楽を踊れました。

前期は、協力の大切さをよく学ぶ事ができました。学んだことを自分の財産にして、後期は、学習やボランティア活動などをがんばっていきたいです。



2年1組 女子生徒

前期の反省を活かし、私が後期取り組みたいことは二つあります。

一つ目は、一日一日の時間を大切にして日々の生活を過ごすことです。私は、この十月で中学校生活が残り半分となりました。入学してから勉強に部活動、行事や委員会などに尽くし、毎日が猛スピードで進んでいきました。時にはそのスピードについていけず、勉強で同じ失敗を繰り返したり、部活動でうまくいかなかったりしました。

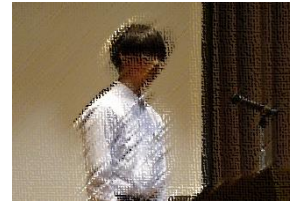
その原因は、勢いに任せて一つ一つのやるべきことを丁寧に行わなかったからです。後期からは、受検用教材を使った自主学習が始まったり、部活動や行事、委員会での立場になったりして、今以上に毎日が早いスピードで進んでいくと思います。でもその時、過去のようにあせらず、勢いに任せず、いったん立ち止まって、一つ一つのやるべきことを確認してから丁寧に着実にこなしていけるようにしたいです。

二つ目は、人や物に対して感謝の気持ちを伝えることです。普段何事もなく使っている用具、いつも助けてくれる友達、一緒に生活している家族。今思い返してみると、もらってばかりで何も返せてないなと分かりました。自分には何が返せるんだろうと考えた時、まずは自分にできることをやってみようと思いました。例えば、用具には丁寧に手入れしてあげたり、友達には得意教科の勉強を教えてあげたり、家族には素直に「ありがとう」と伝えたり。後期では、今まで返せていなかった感謝の気持ちを自分なりの方法で伝えたいです。

この二つの取り組みたいことを実行できるように日頃から意識して生活していきたいです。



3年2組 男子生徒



私は体育祭で赤軍・神楽隊長を務めさせていただきました。

神楽隊が実際に動き出したのは、夏休みに入ってからでした。

私は、1・2年生の頃も神楽隊員だったので、体育祭までの流れも、神楽隊がやるべきことも頭に入っていました。しかし、隊長としての仕事は、思っていたより考えることが多く、日々頭を悩ませていました。

私は中学入学以来、全校の前で今のように1人で話したり、リーダーとして全校に指示を出したりしたことはありませんでした。機会がなかったというのかもしれませんが、今思えば、そういった場を避けるように生活していた気がします。そんな私が今回、神楽隊長をやってみようと思えたのは、クラスのみんなかからの後押しとやってみたいという自分の中から湧き出た挑戦心からです。不安がなかったと言えば、嘘になります。自分なんかで務まるのか。全校のみんながついてきてくれるのか。そんな不安を抱えていました。その不安を上回るやってみたいという気持ちに加え、それを後押ししてくれる周りの存在が私を神楽隊長にしてくれました。

私は、神楽隊長になって気づかされたことが多くあります。私はこれまでの学校生活で、「あの先輩の話長いなあ」「もっとわかりやすく指示してほしいなあ」など、人前で話す人たちに不満を覚えることもありました。しかし、実際に自分が人前で話したとき、集団に対して話すことの難しさ、的確な指示を出すための準備の大変さに気づかされます。このことに気づいた瞬間、これまでに見えていた景色がガラッと変わり、集団を動かしていた先輩方や、委員長や生徒会役員で全校を動かしている同級生たちに、尊敬の念が生まれました。

全校練習が始まる前、せっかくなら思いっきりやってみよう。言葉ではなく、自分の真剣な姿をまず見せることで全校のみんなの気持ちを盛り上げていこう。そういった意気込みでグラウンドのステージに立ちました。みんなにはどう映っていたかわかりませんが、みんながついてきてくれるか、全校が盛り上がり踊ってくれるか、不安でした。

しかし、いつしかその不安はなくなります。私の指示に耳を傾け、楽しそうに踊ってくれる全校のみんなの姿が私から不安を少しずつ取り除いてくれていたのだと、私は思います。練習が終わると、先生から、あなたのおかげで、今年の雰囲気はすごく良いと言ってくれました。もしそうだとしたら凄く誇らしいと思いましたが、それ以上に、そう見えていたとしたら、それは私の思いに答えて、私を安心させてくれた全校の皆さんのおかげだとも思いました。全校の皆さん、本当にありがとうございました。

炎天下の中の本番。実はほとんど覚えていません。暑さと全力で声を出していたからか、ずっと頭がボーっとしていました。けれど、すべての踊りが終わったあと、安心感とも達成感ともいえる充実した気持ちが自分の中に生まれたのははっきりと覚えています。

体育祭を振り返ってみると、自分がまず本気の姿を見せることで全校を盛り上げていこうと思っていたら、それを越える全校の熱気が、いつしか自分を支えてくれていて、その思いに答えて、また頑張れた自分に気づかされます。一緒に一生懸命になってくれる仲間がいることがこんなにもありがたいことなんだと改めて実感しました。

後期には合唱祭があります。今回は、リーダーという立場ではありません。それでも、体育祭の時にみんなが私にしてくれたように、言葉ではなく、まず自分の本気の姿を見せることで、一人でも多くの人々の支えになれるよう、頑張ります。

3年生の皆さん、私たちの中学校生活も残り半年になりました。残りのわずかな時間を、共に全力疾走で駆け抜け、まず最高の学年合唱を作り上げましょう。

1・2年生の皆さん、私たちの合唱を楽しみにしてください。



【今後の予定】

- 10月29日(日) 創立10周年記念式典・講演会・合唱祭
- 10月30日(月) 振替休業日
- 11月7、8日(火、水) 後期中間テスト
- 11月9日(木) 3限後下校(11:35下校予定)
- 11月16日(木) 水辺の音楽祭(吹奏楽部参加)
- 11月21日(火) 3年生進路説明会
- 11月30日(木) いじめゼロプロジェクト(集会)
- 12月6日(水) 生徒会立会演説会
- 12月7~12日(木~火) 後期保護者懇談会・3年生三者面談
- 12月22日(金) 後期前半終了



柳都中



ホームページ

※月予定の詳細は新潟柳都中学校のホームページをご覧ください。